

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

八幡浜市長 大城一郎

市町村名 (市町村コード)	八幡浜市 (38204)
地域名 (地域内農業集落名)	舌田 (舌間、合田)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月20日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・耕作・維持管理ができていない農家が多い。
- ・農業研修生を受入れ、地域の後継者となっている。
- ・農業研修生の農地は確保できるが、研修後の倉庫・機械などの確保が難しい。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・担い手に集積・集約化し、耕作放棄地を解消する
- ・ブランド力の維持向上のため、特に優良園地の荒廃を地域ぐるみで防止する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	130.9 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	130.9 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

- ・農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

<p>(1) 農用地の集積、集約化の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生などに引継いで、優良園地を残していく。 ・農地流動化がうまく機能している地区を参考に取り組む。 ・白地図にやめていく農地を見える化し(廃園予定園地をやめる1年前くらいにリストアップ。)、農地マッチングを進める。
<p>(2) 農地中間管理機構の活用方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。 ・農地中間管理事業のほか、機構が実施する担い手の確保・育成のための研修制度を積極的に活用する。
<p>(3) 基盤整備事業への取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象地があれば今後検討する。
<p>(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地の維持、ブランド力のさらなる向上のため、地域ぐるみで、担い手の確保・育成、農産品の高品質化、高付加価値化等に取り組む。
<p>(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の活用方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のところ具体的な取組み予定はない。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

・鳥獣被害防止対策の継続。捕獲者の確保。